

重点課題に「緊急医療体制」や「魅力ある働く場の確保」

市民の皆さんが現状に対してどのように感じ、どのように評価をしているのかを聞き、今後の市政運営や第2次総合計画の策定に当たっての基礎資料とするため、本年1月に市民意識調査（アンケート）を実施しました。この調査では、個別施策57項目について「満足度」と「重要度」を5段階で評価してもらいました。また、これから市が行っていく事業などについての個別事項を聞きました。今、市民の皆さんが市をどのように考えているのか、調査結果の一部を紹介します。

詳しい分析結果は、市役所情報公開コーナーや市ウェブサイト（<http://www.city.ena.lg.jp/>）などでご覧いただけます。

□問い合わせ 総合政策課 ☎ 26-2111（内線327）



調査の概要
 調査対象: 20歳以上の市民2,500人
 抽出方法: 無作為抽出法
 調査方法: 郵送配布、郵送回収
 調査時期: 平成27年1月
 回収結果: 1,451人(回収率58.0%)

施策の満足度と重要度の分析方法

施策の満足度と重要度は、全57施策の満足度と重要度を5段階評価で点数化して、評価・分析をします。

①評価点の基準 5段階の回答の評価点は、回答者の割合に応じて評価指数を計算します。

算出した評価指数は、満足度と重要度それぞれに「+2.0」に近づくほど満足度を満たし、重要度は高くなります。反対に「-2.0」に近づくほど満足度は不満が大きく、重要度は低くなります。

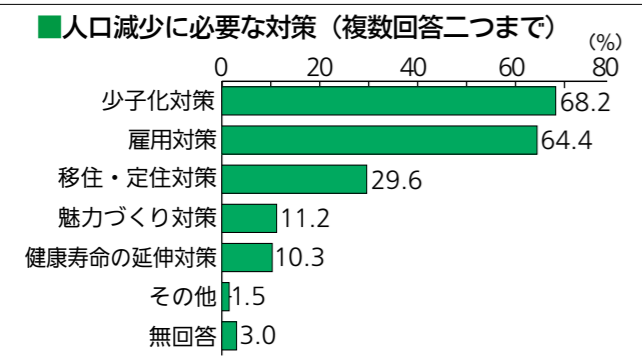
②評価の基準 満足度と重要度の分布により、各施策の評価を行います。

①評価点の基準

評価点	満足度	重要度
+2点	満足	高い
+1点	やや満足	やや高い
0点	どちらともいえない	どちらともいえない
-1点	やや不満	やや低い
-2点	不満	低い
0点	回答なし	回答なし

②評価の基準

評価	満足度指数	重要度指数	施策評価の目安
①重点課題	平均未満	平均以上	最も課題のある施策であり、重点的に推進する
②継続推進	平均以上	平均以上	継続的に市民の満足度を得られるよう施策を推進する
③課題	平均未満	平均未満	課題のある施策であり、必要度を検証し、施策を推進する
④要検討	平均以上	平均未満	一定の成果が得られており、継続の必要性を検証する



本調査では「人口減少を食い止めるために何が重要か」と

人口減少に必要な対策は「少子化」と「雇用」が6割超

「安心して子どもを産み育てるために必要なもの」を年代別に見ると、20から40歳代では「産科・小児科医療の充実」「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」「子育て家庭に対する経済的な支援」が上位を占めました。

安心して子どもを産み育てるために何が重要かと思いませんか？ 年代別上位3位（12項目から三つまで選択）

年代	1位	2位	3位
20歳代	産科・小児科医療の充実 (58.8%)	子育て家庭に対する経済的な支援 (47.4%)	保育サービスの充実 (乳児保育、延長保育、一時保育など) (44.3%)
30歳代	産科・小児科医療の充実 (59.0%)	保育サービスの充実 (乳児保育、延長保育、一時保育など) (46.8%)	子育て家庭に対する経済的な支援 (42.3%)
40歳代	産科・小児科医療の充実 (58.8%)	保育サービスの充実 (乳児保育、延長保育、一時保育など) (52.9%)	子育て家庭に対する経済的な支援 (33.5%)

重点課題は10施策
 市民意識調査の結果を6割表のように分析しました。重要度が高く満足度の低い「重点課題」に該当したのは次の10の施策です。これらの施策は、満足度の向上につながる

- 健康福祉分野 ① 緊急医療体制（夜間・休日・救急）
- 生活環境分野 ② 地震・災害に対する安心感
- 自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策
- 都市・交通基盤分野 ④ 身近な市道・生活道路の整備、維持管理
- 健康福祉分野 ⑤ 健康福祉体制（夜間・休日・救急）
- 生活環境分野 ⑥ 地震・災害に対する安心感
- 自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策
- 都市・交通基盤分野 ⑦ JR中央線の利便性
- 健康福祉分野 ⑧ 魅力ある働く場の確保
- 市民参画分野 ⑨ 健全な財政運営
- 行政改革の推進

よう、今後も重点的に取り組む必要があります。

近な市道・生活道路の整備、維持管理⑤幹線道路（国道・県道など）の整備⑥段差や道幅など歩道の安全性⑦JR中央線の利便性⑧魅力ある働く場の確保

